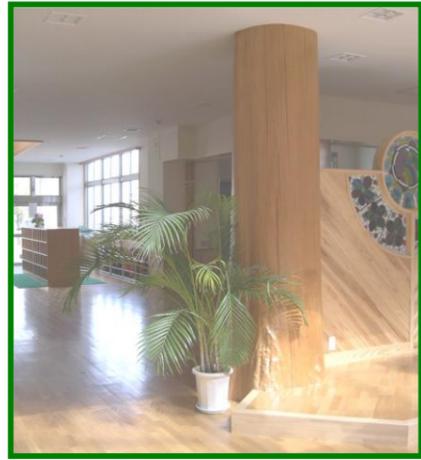


油木小学校を見守る大杉



正面玄関から入ったところに大杉のモニュメントがある。これは、校区にある権現山から伐り出されたもので、樹齢約130年の大木である。この杉が生まれた今から130年前は、旧油木町内にあった各小学校が明治初期に開校した時期とほぼ重なる。この大杉が子どもたちを毎日見守り、多くの物語を聞かせてくれる。

● 児童数及び学級編制 (平成28年5月1日現在)

学年・学級	男子	女子	計
1 学年	5	3	8
2 学年	4	6	10
3 学年	6	6	12
4 学年	2	5	7
5 学年	4	9	13
6 学年	5	13	18
知的障害学級 (ひまわり)	0	2	2
自・情障害学級 (たんぽぽ)	1	0	1
合 計	27	44	71

● 職員数

校長	教頭	指導教諭	教諭	養護教諭	事務主幹	学習支援員	介助員	調理師主任	調理師
1	1	1	8	1	1	1	1	1	2

油木小学校が目指す子ども

勤勉に学ぶ子



感謝の心をもつ
礼儀正しい子



チャレンジする
快活な子



特色ある教育活動

I 教育研究：国語科を中心に授業力を磨く

★主体的に問題解決ができる児童を育てる



油木小学校で最も大切にしているのは、教育研究であり、「油木小授業スタイル」の確立、授業レベルの維持・向上である。児童が学ぶ必然性のある単元を構成し、協力・協働して学び合う場を授業に位置づけ、主体的に問題解決ができる児童の育成を目指している。

II 人権教育の充実

★人権感覚の育成

他者への配慮が自然に態度や行動に現れてくるような人権感覚を育てる教育を行う。QIアンケートやソーシャルスキルトレーニングを取り入れて人権尊重の理念の理解、体得させる。



★故郷を大事にする児童を育てる



社会科や総合的な学習の時間・生活科で地域に出かけたり、地域の方に学んだりする活動をして、地域の方との関わりを大事にした取組みを進めていく。

平成28年度 学校要覧



油木小学校校歌
「緑の朝」
詩 清水凡平
作曲 川崎祥悦

黒土に紡ぐ
いのちの花々
古の森に秘めた
深い木精の微笑
山脈めぐり行く
はるかな星座の物語

高原のふるさと油木の子ども
大きな希望の輪が光る
明るい瞳に未来が輝く

空へ伸びる緑の朝に
新しい季節を告げながら
健やかな風が歌うよ
高原のふるさと油木の学窓に
大きな希望の輪が光る

広島県神石郡神石高原町立 油木小学校

〒 720-1812

広島県神石郡神石高原町油木乙1番地

TEL 0847-82-0926

FAX 0847-82-0933



◆ 校章について

校章は、旧油木町の町花 “かつぼうばな（レンゲツツジ）” を基調に、地域の豊かな自然を象徴的にイメージしたものです。

教育目標

未来を拓く心豊かなたくましい子どもの育成
～ よく学び よく遊び 夢に向かう子ども ～

I 経営目標

人が育つ組織風土の創造 ～勤勉・感謝・チャレンジ～

II 経営理念

学ぶ楽しさを知り、仲間と遊ぶ楽しさを知り、感謝・感動を知り、挑戦する前向きな生き方をする児童を育てる学校をめざす。児童にとって「明日学校へ来るのが楽しい学校」でありたい。そして、保護者にとって「安心して通わせられる、通わせてよかったと思える学校」でありたい。

そのために、知識を教え、考え方を育て、行動化し、習慣化し、人格の完成をめざす。学校統合して12年目を迎える。統合前から今日まで、様々な方のご苦勞・ご支援があったこと、また、神石高原町の将来像「人と自然が輝く町」、町学校教育の方針「未来を拓く人と文化の創造」を踏まえ、町づくりにつながる人づくりという使命に邁進する。

明日学校に来るのが楽しい学校をつくりたい

◎ 学ぶことが真の楽しみ

- そのために、
- 気づきを大切にし、見通しをもたせ、できる喜び、工夫のおもしろさ、発見の感動、真理探求の楽しさがある授業をつくりたい。
- 意欲の湧く活動を仕組み、小さな目標の達成感、勤勉に努力する充実感を味わわせたい。
- 試行錯誤が認められ、向上することをみんなの喜びとする支持的風土をつくりたい。

◎ 元気な声があふれ仲良く生き生きとした場

- そのために
- 人の生き方や自然、音楽・絵などに感動する感性を磨ける場にしたい。
- 気持ちのよいあいさつや元気な声があふれ、仲間と体をいっぱい動かしながら遊ぶ楽しさを伝えたい。
- 人としての道理を教え、思いやりの心を育て、人や地域・社会に貢献する充実感・満足感を味わわせ、夢をもたせたい。

安心して通わせられる学校でありたい

- そのために
- 知・徳・体の調和のとれた教育活動を進め、教職員の質の向上を図り、教師力を高めたい。
- 一人一人を内面から深く理解したい。また、保護者との信頼関係を深めたい。
- 危機管理の行き届いた、安心・安全な学校でありたい。

地域の人々が学校を支え、子ども達の成長が地域を元気にする学校でありたい

III 3つの基本

開校時3つの基本を設定し、油木小学校をスタートした。この原点を忘れないでいたい。

教育の基本

教育の目的は人格の完成であり、国家・社会の形成者の育成である。人類誕生からの数百万年の財産（知識・知恵・文化）を伝えることであり、徳性・関係性、習慣、能力、意欲、体力を育成し、人としての生き方を教え、未来を拓く力を育てることである。

- 確かな学力をはじめ、生きていく上での基礎・基本の確実な定着（知・徳・体・生活）、思考力・判断力・表現力の育成、活用・探求する意欲の涵養
- 自己肯定感の高揚、生徒指導による自己指導能力の育成
- 健康的な生活のための体力向上、基本的生活習慣の確立

教職員の基本

教育は人なり。教職員は最大の教育条件である。教職員の姿勢が学校のあり方を左右すると認識する。児童は教職員の背中を見て育つと心得る。

- 人間愛に満ちた明るい前向きな風土をつくるとともに、ゆるぎない使命感に満ちた個、組織をつくる。そして、教職員と児童、児童と児童、教職員と保護者、教職員同士の信頼関係を築き意欲につなげるとともに、人間愛・生命尊重の精神に満ちた教育活動を展開し、学校教育目標を具現化する。
- 学校教育の原点は授業である。授業は、全人格をかけ知識を教え、能力を育むとともに、人としての生き方・考え方・道理等の資質をも教え育てる学校教育の結晶である。それを充実させるために、個、組織としての力量向上のための日々のたゆまぬ努力、効果的な評価を大切にする。

経営の基本

目標具現化のため、児童への愛と児童・保護者・職員同士の信頼を基盤に教育効果の上がる方策を追求し、地域や家庭と連携し、丁寧な温もりある経営を進める。

- 児童実態向上のための組織による協働体制を充実させ、分掌の責任を明確にした積極的な経営。
- 学校の諸情報を公開し、また情報を聞き、未来を拓く子ども育成のため問題を共有し、ともに進む地域・保護者との連携、共育。
- 職員同士、尊敬できる人間性と専門的力量をつけることによる組織力向上。

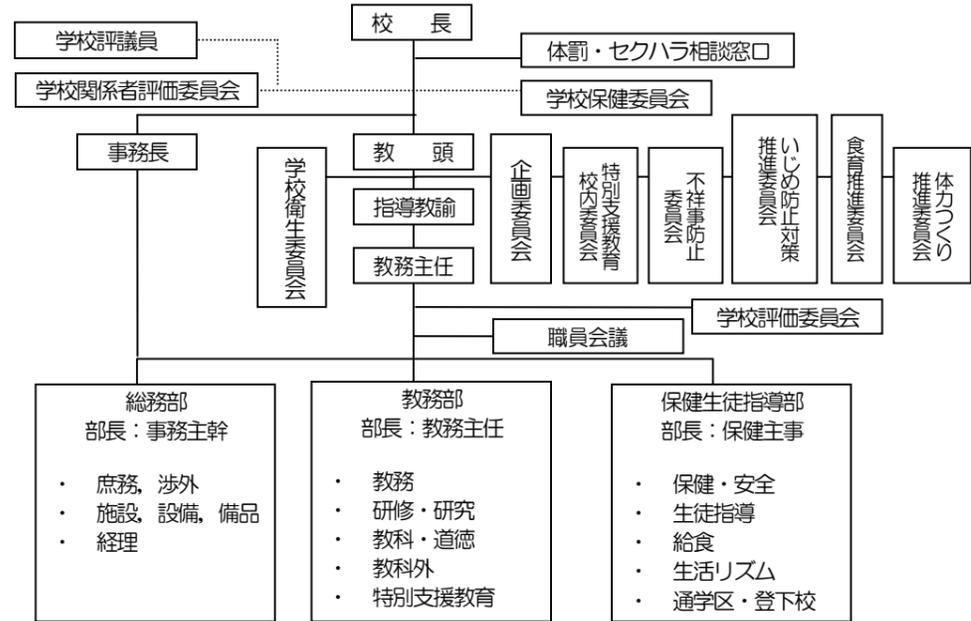
IV 学校経営上の4つの重点項目

- 授業力を磨き、全国トップレベルの学力をつける
- 校風を大切にしながら、豊かな心の教育を組織的に行う

学校評価自己評価表（中期経営目標及び短期経営目標）

中期目標	短期目標（◎）
○ 授業力を磨き、全国トップレベルの学力をつける	◎国語科を通して、主体的に問題解決ができる児童を育てる。 ○学ぶ必然性のある単元を構成する。 ○主体的な読書活動を進める。
	◎体力づくりの自己課題・目標を設定し、文武両道を目指す児童を育てる。 ○体力面での自己課題・目標を設定できるようにする。
○ 校風を大切にしながら、豊かな心の教育を組織的に行う	◎他者への配慮が自然に態度や行動に現れてくるような人権感覚を育てる。 ○人権感覚の理念を理解、体得させる。 ○花いっぱい活動を通して、豊かな感性を育む。
	◎故郷を大事にする児童を育てる。 ○社会や総合的な学習の時間・生活科で、地域に出かけたり、地域の方に学ぶ活動をする。 ○油木っ子生活目標に取り組む

●校務分掌組織



●教育課程

I 年間授業時数

区分	年間授業時数									
	1年		2年 自體 構成種	3年	4年	4年 調整 構成種	5年	5年 調整 構成種	6年	
教科	国語	306	315	280	255	255	175	185	175	185
	社会	/	/	/	70	90	/	100	/	105
	算数	146	185	175	185	185	140	185	140	185
	理科	/	/	/	90	105	/	105	/	105
	生活	102	105	70	/	/	/	/	/	/
	音楽	68	70	70	60	60	70	50	70	50
	図画工作	68	70	70	60	60	70	50	70	50
	家庭	/	/	/	/	/	/	60	/	55
体育	102	105	105	105	105	105	90	105	90	
道徳	34	35	35	35	35	/	35	/	35	
特別活動	34	35	35	35	35	35	35	35	35	
総合的な学習の時間	/	/	/	70	70	35	70	35	70	
外国語活動	/	/	/	/	/	/	35	/	35	
自立活動	/	/	70	/	/	/	/	/	/	
生活単元学習	/	/	/	/	/	/	175	/	175	
日常生活の指導	/	/	/	/	/	/	175	/	175	
計	860	920	910	965	1000	980	1000	980	1000	

II 特色ある教育課程

- 朝会 月：読書朝会
火：保健朝会、児童朝会
水：体育朝会、読書朝会
木：読書朝会（読み語り）
金：通学区朝会、発表朝会、音楽朝会、読書朝会
- パワーアップタイム 週4日10分〔言語技術の習得、辞書引き学習、基礎学力の定着〕

●職員名簿

職名	氏名	分掌
校長	神部 尚弥	統括
教頭	平岡 昌子	総務、体罰・セクハラ相談窓口担当
事務長	田辺 始子	事務総括（兼務）
指導教諭	高延 恵	4年学級担任、研究主任
教諭	妹尾 真由美	教務主任、学年主任、市町挑戦支援力配、道徳教育推進教師
教諭	荒尾 光子	6年担任、保健主事、学校図書館司書教諭
教諭	三好 杏子	知的障害特別支援学級担任、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーター、体罰・セクハラ相談窓口担当
教諭	浅邊 将邦	3年学級担任
教諭	谷本 晃也	5年学級担任、体力づくり推進リーダー
教諭	村上 華那	1年学級担任
教諭	藤本 泰成	2年学級担任
教諭	真加部 和子	自閉症・情緒障害特別支援学級担任
養護教諭	杉本 梨菜	養護
事務主幹	羽場 千恵美	事務
学習支援員	今岡 文恵	指導補助
介助員	藤原 育子	介助
調理師主任	佐藤 真由美	給食
調理師	横山 恵子	給食
調理師	前原 志奈子	給食